

「ホームページによる情報発信の取組」

施設長 服部 昭博

1. はじめに

地域に開かれた施設・事業所であるべき社会福祉法人。しかしながら、介護・福祉、特に社会福祉法人が設置運営する施設・事業所は、その中身がよくわからないといわれています。

また、超高齢化と生産年齢人口急減社会において、鈴鹿市では、今後20年の間、75歳以上の高齢者が増加していく中で、毎年1%ずつ働き手が減っていくということになります。試算すると特養は1.36倍、デイサービスは1.75倍の生産性向上が必要となっており、事業や業務の方法を変えていかなければなりません。今、コロナ禍においては介護・福祉本来の精神、よいところは堅持しつつ、手法等について革新が求められています。

2. 目的

経営理念である“地域に信頼されるべき存在であり続ける”よう、地域に開かれた社会福祉法人を目指すべく、「日々動きのあるホームページ」を目標に、2014年6月よりホームページによる情報発信に取り組みました。

そこで、当ホームがこれまで進めてきたホームページの改善状況について報告します。

3. 方法

- (1) ホームページの改良
- (2) グリーンホームだより記事数の増加

4. 結果

- (1) グリーンホームだより記事数：2014年度 195 → 2019年度 374
- (2) ユーザー数の経過：2014年度 2,089 → 2019年度 22,439
- (3) ページビュー数の経過：2014年度 14,947 → 2019年度 134,574
- (4) その他

5. 考察

グリーンホームだよりへの記事公開数とページビュー数との間に関係が見られました。

また、業界等で注目されている事柄やワード等について積極的に発信することにより、アーリーアダプターと呼ばれる層の獲得につながっていると思われます。

ホームページは、法人をあらわす分身です。法人を育てはぐくむという意識・姿勢があれば、必ず情報は多くの方の手元に届くことになります。情報発信の価値を高めていくことができれば業界全体のブランディングにつながると考えます。

6. 残された課題

今年度上期のホームページのアクセス状況は、118,971 ページビュー。このままのペースを継続すると、年238,000 ページビューのペースとなっています。継続的にユーザー数、ページビュー数を伸ばしていくためにはさらなる工夫が必要です。

- ・トップページの改良
- ・各コンテンツの工夫、開発

7. 参考文献等 なし